

一 五十点

問一 a 不快 b 知恵 c 従って d 講じ e 探究

問二 オ イ ウ ア

問三 A ア B ウ

問四 需要

問五 自然は人間のためや人間を滅ぼすためにあるのではないため、自然法則を発見してもそれが本来どういうものかは人間にはわからないこと。

問六 人間の能力には限りがあるため、いくら努力しても将来何が起こるかを全て見通すことはできないから。

問七 科学者の社会的な責任

問八 エ

問九 文明の発達により便利さと不都合なことが生まれたが、不都合なことを克服することと新しい生きがいを感じ、していいことやめておくことが明白で、やめておくことがたくさんある文明を作るために、自分自身で考えることが必要である。

二 五十点

問一 a 吸い b 突然 c 務め

問二 A ウ B イ

問三 あこ

問四 仕事の現場で裏方として働くばかりではなく、自分の心を表に出すことなくがまんし続けなくてはならない自分自身をとても情けなく感じているから。

問五 レギュラーになれないのであれば、野球をやってもしかたがない(と考えていた。)

問六 隆之が仕事をやめようとしているのを止めようとして必死な気持ち。

問七 イ オ ウ ア エ

問八 こうして勇(こころして)

問九 仕事をやめずに次からは小道具のチーフとして続けていくとともに、たとえそれが裏方であったとしても、自分の仕事に誇りを持って取り組むことで、堂々とした気持ちで人生を歩き始められるということ。